



令和7年度 埼玉県保育士会 研究部会

「園での ICT 活用方法・実態について」 調査報告

調査概要

○目的

本調査は、保育現場における ICT 活用の実態を把握し、その成果や課題を明らかにすることを目的とする。具体的には、既に ICT を導入している園におけるメリット・デメリットを整理するとともに、導入を検討している園が参考にできる知見を提供する。

これにより、保育の質向上や業務効率化、保護者との連携強化など、ICT 活用がもたらす可能性を客観的に示し、今後の導入・運用に資する基盤情報を得ることを目指す。

○調査対象

埼玉県保育士会 会員施設に所属する事務作業に携わる職員

○実施期間

令和7年8月12日(火)～9月30日(火)

○実施方法

アンケートの依頼を会員施設へ送付し、インターネットにて回答

○回収状況

回答人数 654人

○研究部会開催

第1回 令和7年 6月18日(水)

第2回 令和7年 7月23日(水)

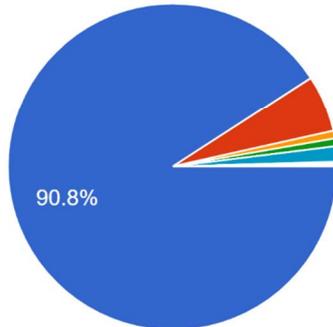
第3回 令和7年10月27日(月)

第4回 令和7年12月17日(水)

アンケート集計結果

☆所属する施設を選んでください。

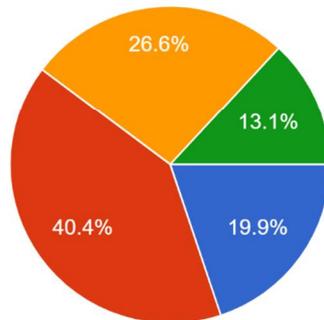
654 件の回答



- 公立保育所・保育園
- 私立保育所・保育園
- 認定こども園
- 小規模保育所
- 事業所内保育所
- 児童発達支援事業所
- 公私連携型保育園
- 指導発達支援事業所
- 公立児童発達支援事業所

☆所属園の該当地区をお答えください。

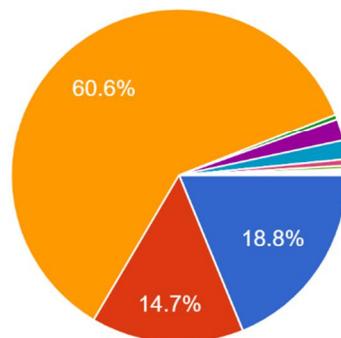
654 件の回答



- 東部地区 (羽生・加須・久喜・蓮田・白岡・宮代・杉戸・幸手・春日部・越谷・松伏・吉川・草加・三郷・八潮)
- 西部地区 (小川・嵐山・滑川・東松山・吉見・ときがわ・鳩山・坂戸・川島・越生・毛呂山・鶴ヶ島・川越・飯能・日...)
- 南部地区 (鴻巣・北本・桶川・上尾・伊奈・さいたま・志木・川口・新座・朝...)
- 北部地区 (秩父・小鹿野・横瀬・神川・皆野・東秩父・本庄・長瀬・寄居・上...)

☆職名をお選びください。

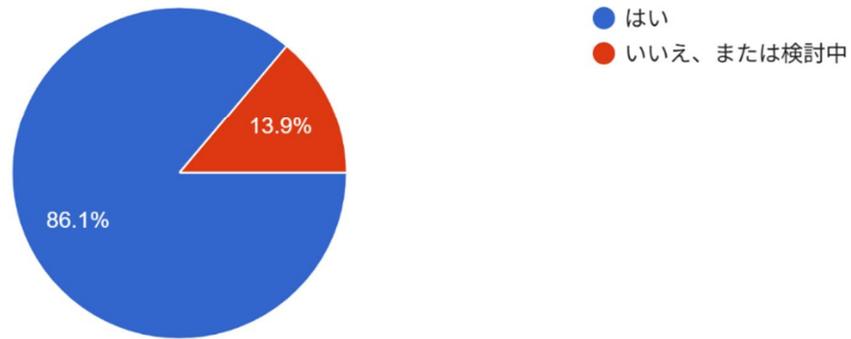
654 件の回答



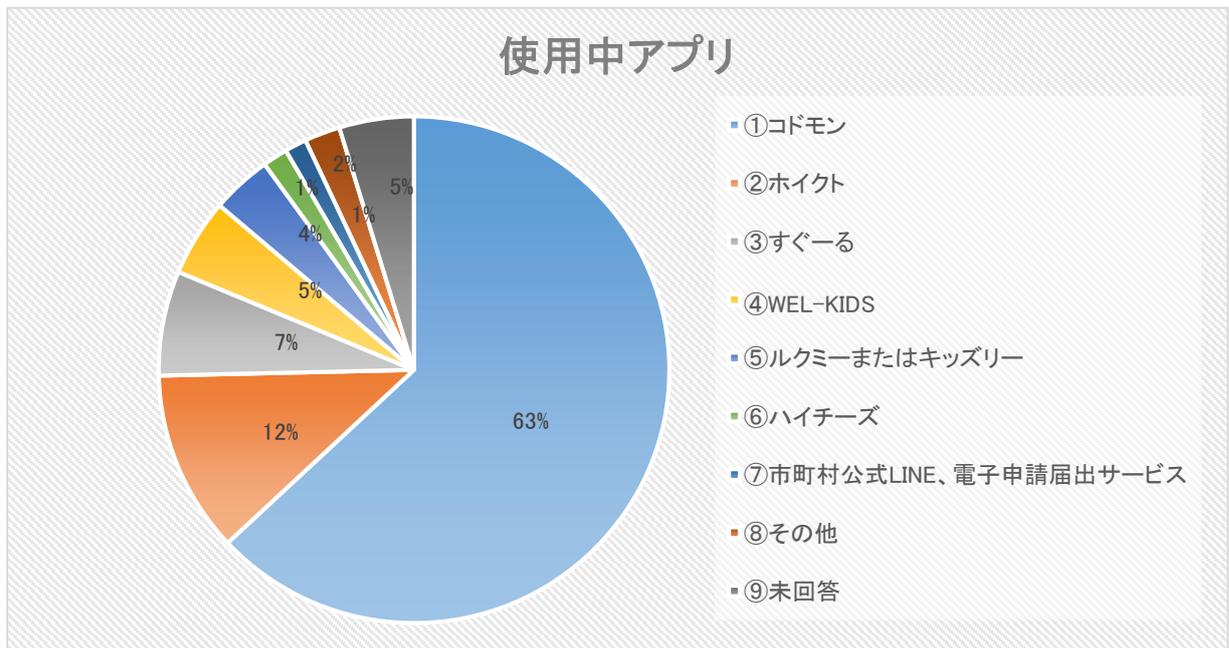
- 園長・所長
- 副園長・副所長・主任
- 保育士
- 栄養士
- 調理員
- 看護師
- 事務員
- 児童指導員

ICT 導入済み園の回答

問1 園でICTを取り入れて業務を行っていますか。
654 件の回答



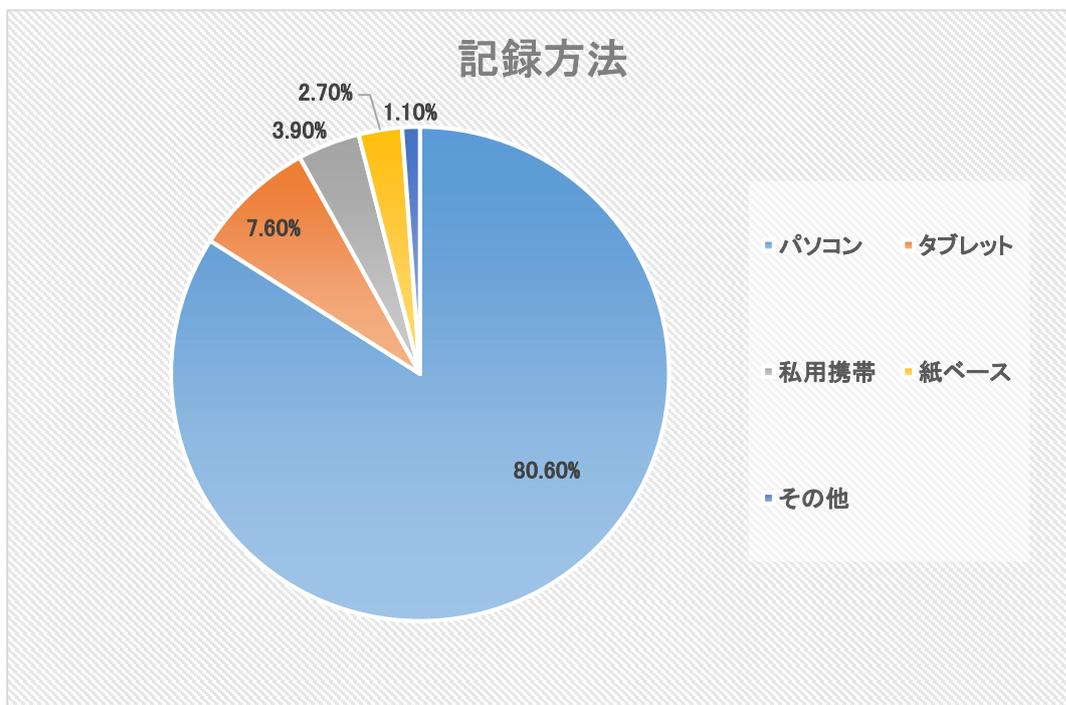
問2 問1にて「はい」と答えた方に質問です。
どちらのアプリを導入されていますか。(複数回答可)



①コードモン	64.1%	⑥ハイチーズ	1.6%
②ホイクト	11.8%	⑦市町村公式 LINE、電子申請届出サービス	1.4%
③すぐーる	6.8%	⑧その他	2.3%
④WEL-KIDS	5.0%	⑨未回答	4.8%
⑤ルクミーまたはキッズリー	3.9%		

問3 問1にて「はい」と答えた方に質問です。

園で記録を残す場合、何を使用していますか。(複数回答可)



①パソコン	80.6%
②タブレット・iPad	72.3%
③公用携帯	7.6%
④私用携帯	3.9%
⑤紙ベース	2.7%
⑥その他	1.1%

問4 問1にて「はい」と答えた方に質問です。

アプリの中で使用している機能は何ですか。(複数回答可)

①お知らせ一斉配信	86.5%	⑧写真(販売)	21.1%
②保護者との連絡	83.7%	⑨ブレスチェック	18.3%
③おたよりや献立表(一斉配信)	81.9%	⑩要録	16.3%
④登降園記録	81.2%	⑪出退勤	14%
⑤身体測定	71%	⑫請求管理	10.8%
⑥カリキュラム	50.6%	⑬その他	0.4%
⑦成長の記録	46%	⑭未回答	0.5%

問5 問1にて「はい」と答えた方に質問です。

ICT の具体的なおすすめ活用例を教えてください。

①お知らせ一斉配信	16.5%
②アンケート	11.8%
③登降園管理	11.3%
④ドキュメンテーション(毎日の保育の様子など)	10.4%
⑤画像で情報共有(ケガ等の状況や給食画像)	8.6%
⑥保護者との連絡	8.5%
⑦連絡帳	5.7%
⑧カリキュラムや指導案作成	3.8%
⑨職員間の情報共有	3.3%
⑩その他	20.1%

問6 問1にて「はい」と答えた方に質問です。

ICT を導入したことでよかったことは何ですか。(複数回答可)

①ペーパーレス化につながった	67.8%
②職員間または保護者へ共有しやすくなった	49.1%
③管理がしやすくなった	29.5%
④業務が楽になった	27.9%
⑤保護者から好評	13.3%
⑥わからない	13.5%
⑦その他	1.1%

問7 問1にて「はい」と答えた方に質問です。ICT を導入したことでの課題は何ですか。(複数回答可)

①職員間での得意、不得意があり活用に差がでている	64.9%
②保護者との会話が減った	27.2%
③繋がりがづらい、不具合が多い	1.8%
④その他	1.1%
⑤未回答	2.2%

問8 問1にて「はい」と答えた人に質問です。
問7にて回答した課題について、実体験や対処法はありますか。

◇職員間で得意不得意がある

- ・苦手な職員にはサポート体制を構築している。園全体で学びの場を作っている。
- ・ICT担当を作り得意な人が業務を進めた。適材適所。
- ・アナログ対応とPS作業を分担している。紙面を使ったやり取りと併用している。
- ・若手が活躍できる場になっている。
- ・事務ができる時間を交代で作る。朝早く出勤し仕事を進めた。
- ・担任間で連携を取って事務をしている。
- ・操作マニュアルを作っておく。
- ・能力により仕事を分散する必要がある。

◇予算、機材の問題

- ・同じ画面が開かないので効率よく回らない。
- ・行政の理解がないので対処の仕様がでない。公立なので自由に相談できない。
- ・パソコン等の台数が少ない。アプリ内で使えることが少ない。通信状態が安定しない。
- ・有線のパソコンのためこどもから目が離れてしまう。iPadを導入してほしい。
- ・きちんと作動せずに使えないことが多い。その都度再起動する。
- ・システムの性能を上げてほしい。保護者からも翌日や休み明けの入力ができず困ることやキャッシュ機能を導入してほしい等の要望があがっている。
- ・エラーになると保育が滞る。
- ・ミス、誤送信について途中でチェックできない。職員でダブルチェックをしている。
- ・リアルタイムでクラス担任全員での確認ができない。書類の確認作業や訂正の指摘などがやりづらい。またこどもの様子を日誌などでも共有しづらい。
- ・キーボードを変えて使い手に合った入力方法を試した。タブレット用キーボードを購入。

◇業務が増えた

- ・活用、作業の工程が複雑で時間を要す。
- ・自分の事務時間を返上して周りをサポートしており手間が増えた。
- ・効率化した分、他の仕事を任せられた。
- ・アプリのトラブルなどで対処方法がわからず仕事が完了しない。保育にも影響している。
- ・パソコン等の台数が少なく共有して使用しているため、時間の調整や個人差に影響を受けることがある。
- ・データでのやり取りが増え負担である。
- ・パソコンの作動が苦手な職員の手書きした文章をデータ化する等作業が増えた。

- ・正確さの面で100%を求められ仕事が増えたと感じる。
- ・保護者の打刻忘れ等の打ち直しに時間を要す。

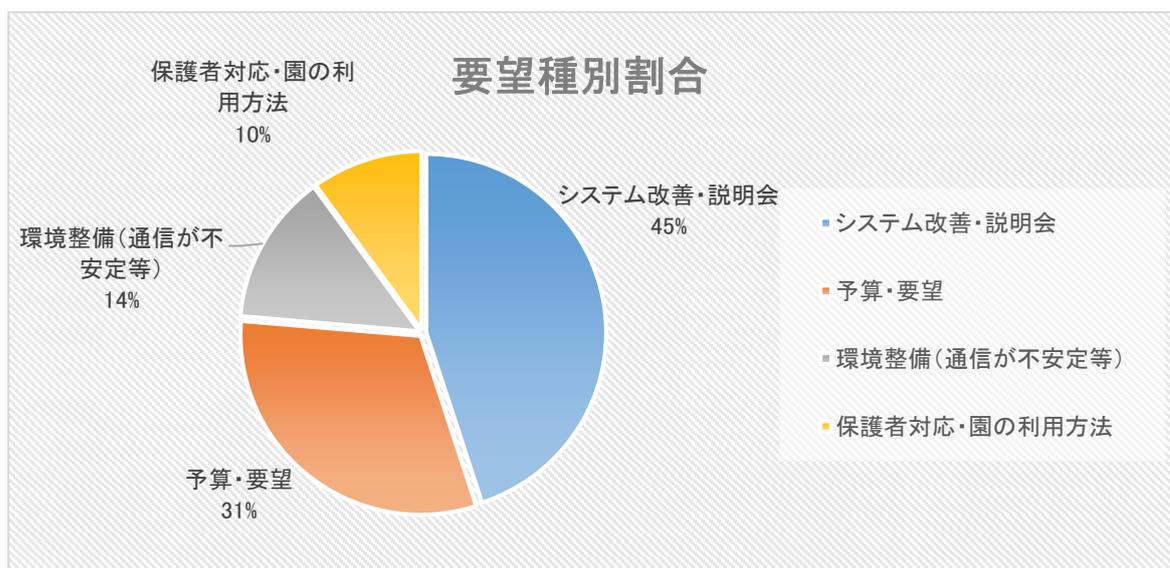
◇ICT 化の導入による保護者との連携

- ・保護者との会話が減った。
- ・以前に比べて事務的なことしか記入してこない保護者が増えた。
- ・保護者からの入力による要望や指摘が増えた。
(職員個人への攻撃・キャッシュの管理・入力時間の縛り・配信物などのクラスごとの差について等)
- ・保護者自身の得手、不得手による影響がある。

◇ICT 化の導入による職員間の連携

- ・園全体で学び、教えあう時間を共有できていることで良い関係を築いている。
- ・閲覧するための操作が多く、記入内容の指導や確認が職員に十分にできない。
- ・指導案などの作成時、リアルタイムで全員での検討が難しい。
- ・こどもの様子を共有しにくくなった。また職員間の連携が複雑になった。

問9 問1にて「はい」と答えた方に最後の質問です。
今後もICTを活用していくにあたって要望はありますか。



- ① システム改善・説明会 45%
- ② 予算・要望 31%
- ③ 環境設備 14%
- ④ 保護者対応・園の利用方法 10%
- ⑤ 未回答あり

①メーカー側のシステム改善、説明会の開催等

- ・園で利用しやすいようにカスタマイズできるようにしてほしい。
- ・他園の活用事例等を知りたい。
- ・不具合等のエラーや繋がりを改善してほしい。
- ・アプリ内で使える機能の増加・AIを活用して業務の省略可を出来ると良い。
- ・機械が苦手な職員でも簡単に操作が出来るようにしてほしい。
- ・全職員に向けた操作指導等を行ってほしい。
- ・園の写真等の情報を保護者と簡単に共有できるようにしてほしい。
- ・職員間の連携で利用できるように園全体から個人まで選択できる連絡手段があると良い。
- ・日誌や指導案等の例文がもっとあると良い。
- ・写真の解像度が良くなるとよい。
- ・健康診断の結果を保護者に見やすい形にもらえるとうい。
- ・災害時は外に出ることもあるので、対応が可能になるとよい。
- ・一斉入力がクラスごとにできるようにになるとよい。
- ・請求完了、日誌、出退勤の管理などの効率化。

②補助金等予算立て・その他要望

- ・機器の入れ替えなど導入以外でも維持費用がかかるので、補助があるとよい。
- ・持ち運び可能、写真撮影も兼務できるハードケース付きのタブレットがあると活用しやすい。
- ・パソコン・タブレットの台数を増やせるとよい

③環境設備(通信等)

- ・園内の通信環境の改善をしてほしい。
- ・アクセスできる端末を増やしてほしい。

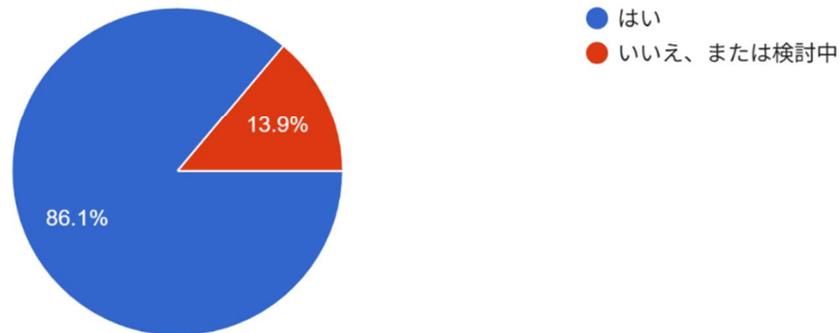
④保護者との対応、園での利用方法

- ・保育は心も体も健全な人間を育てる仕事であるため、コミュニケーション能力不足が顕著にならないように、こども・保護者・職員がデジタルに依存しないようにしたい。便利さと取替えての不便さを楽しむ心の豊かさを失わないようにしたい。
- ・保護者からのご意見が貴重だが、苦情などはアプリを通さないことがよいと思う。
- ・ICTを活用しながら、保護者とコミュニケーションが丁寧にとることを大切にしていきたい。

ICT 未導入園の職員の回答

問1 園でICTを取り入れて業務を行っていますか。

654 件の回答



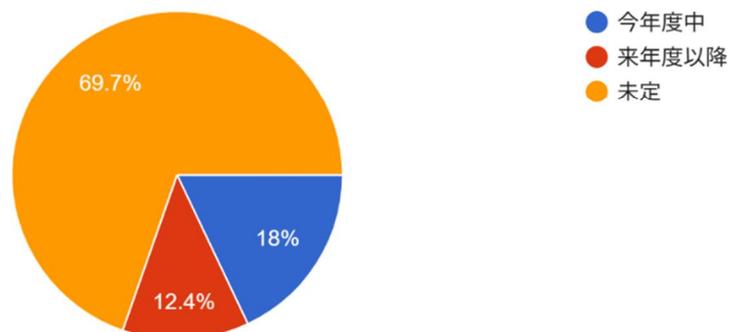
問2 問1にて「いいえ、または検討中」と答えた方に質問です。
ICTを導入していない理由はありますか。(複数回答可)

①予算	52.2%
②必要性を感じていない	21.1%
③園の方針	16.7%
④今年度中に導入予定	7.8%
⑤活用するまでに至っていない	4.4%
⑥今度導入予定	3.3%
⑦その他	7.8%
⑧未回答	15.6%

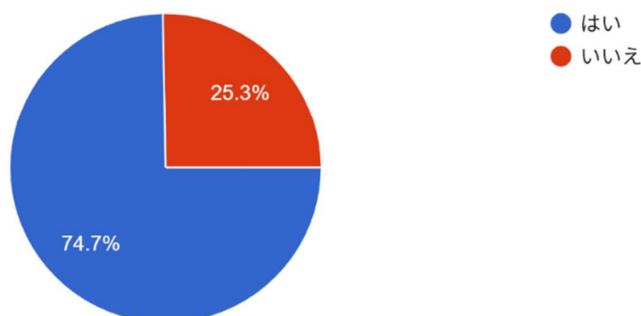
問3 問1にて「いいえ、または検討中」と答えた方に質問です。

ICTを導入する予定はありますか。

89 件の回答



問4 問1にて「いいえ、または検討中」と答えた方に質問です。 アプリを活用したいですか。
87件の回答



問5 問1にて「いいえ、または検討中」と答えた方に質問です。
活用してみたい機能はありますか。(複数回答可)

①登降園記録	51.7%	⑫シフト管理	27.6%
②お知らせ(一斉配信)	50.6%	⑬写真(販売)	26.4%
③日誌	48.3%	⑭今日の給食(一斉配信)	24.1%
④保護者との連絡	46%	⑮カリキュラム	23%
⑤おたよりまたは献立表(一斉配信)	44.8%	⑯ドキュメンテーション(一斉配信)	17.2%
⑥プレスチェック	37.9%	⑰請求管理	12.6%
⑦成長の記録	36.8%	⑱その他	5.7%
⑧身体測定	34.5%	⑲わからない	19.5%
⑨出退勤	33.3%		
⑩要録	32.2%		
⑪保護者または職員向けアンケート	27.6%		

問6 問1にて「いいえ、または検討中」と答えた方に最後の質問です。
活用するにあたって不安に思うことはありますか。(複数回答可)

①活用できるのか	67.9%
②職員差が生まれそう	40.5%
③費用面	29.8%
④業務が増える	27.4%
⑤保護者とのコミュニケーションが減りそう	20.2%
⑥その他	3.6%
⑦未回答	4.8%

考察・まとめ

今年度、研究部会では園での ICT 活用方法・実態についてアンケートを取りました。

保育に ICT が導入されてから日が浅いですが、回答の86%がすでに ICT を取り入れ、業務を行っている現状がわかりました。

使用している中で良かった点は、ペーパーレス化につながった、事務作業の負担軽減、計算等のミス防止、業務の効率化が挙げられました。そして何より保育士が子どもと向き合う時間が増え、保育の質の向上に繋がる事を一番の利点に挙げなければなりません。保育士間の情報も共有化でき、記録や情報共有がスムーズになることで保育士同士が連携し、質の高い保育を追求する時間と心の余裕が生まれてくるように思います。

課題については、得意不得意を感じる職員が多い点です。対策としては、園全体で学びの場を設け、得意な人に教えてもらいながら作業を分担し、対処している等の意見がありました。

紙の書類との併用期間を設け移行期間をスムーズに進める工夫や、職員同士のダブルチェック体制を強化し、ミスや誤送信を未然に防ぐことが大切です。職員全体で、安心して活用できる環境づくりを進めていくことが重要であると感じました。

保護者側のメリットは何といても情報入力の時間を選ばない利便性です。忙しい保護者の負担も軽減され、携帯電話1つで情報の整理ができ、様々な事をアプリ内でいつでも確認が出来ます。利便性の向上が更に園との信頼関係構築に繋がると感じました。

ICT を取り入れていない園の回答の中で、現場の職員は 70%以上がアプリを活用したいと感じていることが分かりました。活用していない理由としては予算的な問題や必要性を感じていない等が挙げられています。また ICT を活用しきれるか、職員差が生まれそう、保護者とのコミュニケーションが減るのではと不安に思うことが挙げられています。

ICT 化に向け、得意な人が苦手な人を補い職員同士も互いに理解し合い保育にあたっていく事で園全体の雰囲気も良くなり保護者との関係性も良くなるように感じます。

また、保護者との ICT 化のデメリットとして子どもの様子の共有が希薄になるのではという点も挙げられていました。ICT の利便性を理解しつつもしっかりと対面でのコミュニケーションを築いていく事は、保護者との関係においていつの時代も必要となります。

導入面での費用やセキュリティの問題、機器やシステムの不調時には迅速なサポートが受けられる仕組みを作ることが重要となります。通信環境の整備等をしっかりと整えて、現場の安心と子どもたちの安全を守る観点から、現実的な運用方法を模索していく必要があります。上手に ICT を利用し導入目的を明確にしていく事が導入成功への道と考えられます。

アンケートの結果から、今回、様々な業者の保育アプリが実在することを知る中で、職員の希望に全てがマッチしている活用ができている園が少ない状況を把握できました。まだ検討の余地や精査することが必要であり、予算も含め業務の軽減や時間の管理など、働く職員の意思が反映できれば ICT 化は保育をサポートする役割として、推奨されていくのではないかと思います。

ICT を活用するには Wi-Fi などの環境整備、パソコンやタブレットの台数や予算の補助など、現場の努力だけでは難しいということが分かりました。また心も体も健全な人間を育てていくのが保育であるため、子どもも保護者も職員も、デジタルに依存しないようにしたい、便利さと不便さを楽しむ心の豊かさを持っていたいという意見もありました。

ICT 化を進めるには、社会全体で保育について考えていかないといけないと感じました。

埼玉県保育士会 研究部会 一同